

## コミュニケーションロボット「Kebbi(ケビー)」を用いたプログラミング教育の授業実践③【長久手市立北小学校】

「ICT教育モデル校活動通信 Vol.7」で、コミュニケーションロボット「Kebbi Air」(以下「Kebbi」)を用いたプログラミング教育の授業実践に向けた大府市の取組の様子を伝えましたが、この度、授業実践が行われたので長久手市立北小学校の様子を報告する。

4年生(2時間完了)

〈授業を参観して〉

- ・ 事業者がゲストティーチャーとなり、目標を「Kebbi と仲良くして家族になる」として授業を行っていた。
- ・ 出合いのあいさつでは、ダンスをする Kebbi に子供たちが一斉に注目した。一人一人の顔と名前を認識し握手をするなどのふれあいを通して、子供たちと Kebbi との距離は一気に縮まった。
- ・ プログラムの作成では、1人1台のパソコンで基本操作やシミュレーションをした後、グループで作成したプログラムどおりに Kebbi が動くかを確認した。
- ・ ミッションカードのプログラムをグループで考える場面では生き生きと活動する子供たちの姿が見られた。ミッションを達成した瞬間は、大きな歓声があがった。



【顔と名前を覚えて楽しくあいさつ】



【1人1台のパソコンでプログラム作成】



【大型ディスプレイでプログラムを確認】



【グループでミッションに挑戦】